

【様式】

政 務 活 動 一 覧

議員名：広谷直樹

旅行期間	活動日時	活動先			政務活動の内容	関連領収書番号
		住所	活動先の名称	対応部局等		
令和 7 年 6 月 30 日 ～ 7 月 1 日	7 月 1 日 10:30～ 18:30	大阪市	大阪関西万博会場	県イベント実施会場関係者	大阪・関西万博 鳥取県イベント調査	24
8 月 17 日 ～8 月 19 日	8 月 18 日 11:00～12:10	隠岐郡 海士町	AMA ホールディングス(株)	代表取締役 新庄ありさ氏	「リーフボール藻礁」を活用した藻場再生実証実験の検証	36, 37, 38, 39
	9 月 3 日	鳥取市	みんなの牧場	岡本社長・ [REDACTED] 氏	酪農に関する視察と現状調査	42
10 月 9 日 ～10 月 10 日	10 月 9 日 11:30～16:05 10 月 10 日 10:00～11:00	東京都内	衆参議員会館 領土・主権展示館	石破総理他地元衆参国會議員 石野貢三館長	会派 国要望 領土・主権展示館視察	53・54・55
10 月 24 日 ～10 月 26 日	10 月 24 日 17:00～19:00 10 月 25 日 8:30～17:00 10 月 26 日 8:30～10:00	北海道安平町	全日本ホルスタイン共進会	共進会関係者 鳥取県出品者 平井知事 県農林水産部	第 16 回全日本ホルスタイン共進会北海道大会に関する行政調査	31-2、51・59・60・61・62・63・64・65
	11 月 5 日	岡山県真庭市	蒜山酪農農業協同組合 中四国酪農大学校	長恒組合長 吉永プロジェクト推進室長 中四国酪農大学校 菱川雅弘校長	A2 牛乳の現状についての調査 農場視察	72

11月9日 ～11月10 日	11月10日 9:30～16: 45	東京都永 田町	国会議員会館・ 関係省庁	ジオパーク議 連の国会議員 及び関係省庁 職員	「山陰海岸ジオ パーク推進三府 県議会議員の 会」の国会議 員、関係省庁へ の要望活動	73・74・75・ 76・76-2・77 ・78・79・80 ・81・82
11月17日 ～11月18 日	11月18日 10:00～11 :00	東京都永 田町	衆議院第一議 員会館 大会 議室	山陰近畿自動 車道整備推進 協議会他	山陰近畿自動 車道整備推進決起 大会出席	85・86
	1月5日	鳥取市	鳥取市民新年 合同祝賀会	鳥取市総務部	新年祝賀会出席	98
	3月7日	東伯郡琴 浦町	大山乳業協同 組合長、真山牧 場主等との意 見交換会。現場 視察	小前組合長、山 本部長、真山牧 場主	大山乳業、酪農 の現状について 聞き取り	115

- ・交通費（JR等運賃、タクシー代、駐車場代）、宿泊費、会議等への参加費及び会議の開催経費（会場代、講師謝金等）に政務活動費を充当する場合に記載すること。
- ・移動日等も含め政務活動が複数日に渡る場合は、移動日等を含めた「旅行期間」と実際の政務活動を行った「活動日時」を記載すること。なお、旅行期間が1日である場合は、旅行期間欄は空欄とし、活動日時欄の時間は記載不要とする。
- ・県外及び国外での政務活動については、別途「活動報告（県外・国外）」を提出すること。

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 広谷直樹

活 動 事 項	大阪・関西万博鳥取県イベント 調査
活 動 年 月 日	令和7年6月30日(月) 移動日 宿泊 令和7年7月 1日(日) 10:30～18:30 政務活動
場 所	大阪・関西万博会場
活動の相手方	万博会場・県イベント実施会場関係者
活 動 の 目 的	令和7年7月1日に開催された大阪関西万博における鳥取県イベントの参加を契機として、万博を活用した地方創生、観光誘客、情報発信の取り組み状況を調査するとともに、本県の今後の施策推進に資すること。
活 動 の 内 容	鳥取県は「自然・食・文化」をテーマに、県内観光資源や特産品の魅力発信を行っていた。特に砂丘やジオパーク、温泉地などの観光資源のPRに加え、地元食材の試食提供や伝統文化の紹介が来場者の関心を集めていた。当日は「今日は1日鳥取県～まんが王国とっとりの魅力」として、ステージイベントを1部は郷土芸能披露など、2部は倉木麻衣スペシャルライブと分けて行われた。
活動の結果等	万博会場全体では、各自治体がそれぞれの特色を生かした展示や体験型コンテンツを展開しており、地方の魅力を国内外へ発信する重要な機会になっているものと感じた。 また、万博には国内外から多数の来場者があり、本県にとっても認知度向上及び誘客促進の大きな機会であり、今回の万博来場者の関心を一過性のものに終わらせることなく今後の観光振興策や、産業振興策に結びつけることが重要であると感じた。
関連領収書番号	24

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 広谷直樹

活 動 事 項	「リーフボール藻礁」を活用した藻場再生実証実験の検証
活 動 年 月 日	令和7年8月17日 移動日 宿泊 同年 8月18日 11:00～12:10 政務活動 宿泊 同年 8月19日 移動日
場 所	島根県隠岐郡海士町知々井992-4 AMA ホールディングス(株)
活動の相手方	代表取締役 新庄ありさ氏
活 動 の 目 的	令和6年に視察を行った長崎県の(株)旭テックが日本で唯一製造した人工礁「リーフボール藻礁」を活用して藻場の再生を目指す実証実験の成果を確認、検証するため
活 動 の 内 容	AMA ホールディングス(株)の代表取締役新庄ありさ氏から、まちづくり会社である AMA ホールディングス(株)の活動の状況と、漁業を主産業とする海士町で磯焼けが進み漁獲量の減少している現状と、令和6年10月にリーフボール藻礁を海中に設置して令和7年5月までモニタリング調査を行った結果について聞き取りを行った。
活動の結果等	令和6年10月に海士町知々井地区湾内の水深5メートルに比較検証をするために、コンクリートだけの物と「フルボ酸鉄」を練りこんだリーフボールを3個ずつ設置した。その後、設置場所を移動するなど本格的には12月からになった。 令和7年6月で実証実験は終わったが、結果として藻の植生は確認できず、リーフボールの効果が見られなかった。 原因として、設置水深の問題、リーフボール設置時期の問題、しかも、プロジェクトのメンバーに専門家が不在で素人だけで取り組んだことも関係するのではとのこと。また、日本海側ではリーフボールの効果は難しいのではとのこと。 AMA ホールディングス(株)は、海士町で街づくりをしている第3セクターの会社であり、漁業を主産業とする海士町は、事業をするについて規制が緩やかで、「いろんな挑戦をなささい」と言われており、決定判断が早く、スピード感があり新しい取り組みをしやすい環境がある自治体であると感じた。
関連領収書番号	36, 37, 38, 39

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 広谷直樹

活 動 事 項	国会議員への国要望と領土・主権展示館視察
活 動 年 月 日	令和7年10月9日(木) 11:30～11:45 石破総理大臣に要望 13:30～13:40 赤澤経済再生大臣に要望 13:50～14:20 青木内閣官房副長官に要望 14:25～14:55 出川参議院議員に要望 15:00～15:30 藤井参議院議員に要望 15:35～16:05 舞立参議院農林水産委員長に要望 令和7年10月10日 10:00～11:00 領土・主権展示館 視察
場 所	総理官邸、内閣府、参議院会館、 領土・主権展示館(東京都千代田区霞が関)
活動の相手方	地元選出各国議員、石野館長
活 動 の 目 的	各地元国会議員への要望と、日本国の領土や主権について理解を深めるため
活 動 の 内 容	鳥取県には行政課題が山積する中、石破総理をはじめ地元国会議員の方々に要望活動を行った。 領土・主権展示館は日本の領土や主権、特に北方領土や竹島、尖閣諸島について学べる国立の展示施設である。令和7年4月にリニューアルオープンしており、石野館長から説明をしていただいた。
活動の結果等	地元選出の国会議員の方々に要望をさせていただき、そして親しく意見交換をすることができた。 領土・主権展示館は内閣官房領土・主権対策企画調整室が運営を行っている我が国の領土・主権に関する事実や日本の立場に関する正確な理解を浸透させるための情報発信拠点である。令和7年4月にリニューアルしたところであり、石野館長自ら説明対応をしていただき、我が国の領土、主権について改めて理解を深めることができた。
関連領収書番号	53, 54, 55

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 広谷直樹

活 動 事 項	第 16 回全日本ホルスタイン共進会北海道大会に関する行政調査
活 動 年 月 日	令和 7 年 10 月 24 日(金) 移動 激励会 宿泊 令和 7 年 10 月 25 日(土) 全日会場 宿泊 令和 7 年 10 月 26 日(日) 半日会場 移動
場 所	全日本ホルスタイン共進会北海道大会会場
活動の相手方	全日本ホルスタイン共進会関係者及び鳥取県出品牛関係者
活 動 の 目 的	全国規模のホルスタイン共進会に参加し、乳用牛改良の最新動向や飼養管理技術、酪農経営の現状と課題について把握し、本県酪農に資する施策の検討をするため
活 動 の 内 容	本大会は全国から優良なホルスタイン牛が出品され、体系や資質、改良成果を競う国内最大級の共進会である。各都道府県の代表牛が一堂に会し、改良技術や飼養管理の成果を広く発信する場となっている。 審査は国際基準に基づき厳格に実施されており、乳量のみならず体系のバランスや健康性、長命性を重視した評価が行われている。特に、持続可能な酪農経営を意識した改良が進んでいるようである。
活動の結果等	酪農業界も近年 ICT を活用した個体管理システムや自動搾乳機など省力化・効率化に資する技術の導入が進んでいる。本県の酪農家数が激減しているが、今回の調査の知見を踏まえて、本県酪農の競争力強化に向けて以下の点について感じた。 ・ ICT や自動化技術などスマート農業技術導入への補助制度の充実 ・ 飼料自給率向上に向けて生産基盤の強化支援 ・ 酪農経営の安定化に向けた支援策の充実。ヘルパー制度など ・ 若手酪農家の育成及び新規就農支援の強化 などである。
関連領収書番号	31-2、51、59、60、61、62、63、64、65、

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 広谷直樹

活 動 事 項	A2 牛乳の現状についての調査
活 動 年 月 日	令和 7 年 11 月 5 日 13:00～14:30
場 所	蒜山酪農農業協同組合 会議室 中四国酪農大学校 農場・牛舎
活動の相手方	蒜山酪農農業協同組合 長恒組合長 吉永プロジェクト推進室長 中四国酪農大学校 菱川雅弘校長
活 動 の 目 的	おなかが痛くなりにくいといわれている「A2 牛乳」を生産し、地域の酪農を支えようとする動きが広がっている。岡山県蒜山酪農農業協同組合は令和 6 年 4 月から A2 牛乳の牛乳とヨーグルトの商品を製造販売している。A2 牛乳の現状の聞き取りをするため伺った。
活 動 の 内 容	蒜山酪農農業協同組合の事務所に伺い、長恒組合長と吉永プロジェクト推進室長から A2 牛乳の製造販売に至る経緯と販売の状況について聞き取りを行った。 また、生産現場として A2 牛乳を搾乳しているジャージー牛を飼育している中四国酪農大学校の農場を視察し、菱川雅弘校長から説明を受けた。
活動の結果等	A2 牛乳を始めたきっかけは、蒜山地方で多く飼育しているジャージー牛は本来 A2 遺伝子が他種の乳牛より多くあり、さらに岡山県が蒜山地域の活性化のために推奨をしたとのこと。 現在、2 戸の牧場(中四国酪農大学校を含む)で A2 牛乳を搾乳するジャージー牛を飼育している。A2 生乳生産量は 2 牧場で日量約 3 トンで、A2 製品の出荷量は微増傾向であるが生乳換算で 1 日当たり 0,35 トンであり、生産量の 1 割である。 海外では A2 牛乳の市場は拡大しているようであるが、国内ではまだ認知度が低く、価格が通常牛乳より高いなどまだ課題があるようである。牛乳・乳製品に付加価値を付けるということに関して今後に期待するところである。
関連領収書番号	7 2

活 動 報 告（県外）

議員名： 広谷直樹

活 動 事 項	「山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会」の 国会議員、関係省庁への要望活動
活 動 年 月 日	令和7年11月9日(日) 移動 宿泊 令和7年11月10日(月)9:30~12:15 国会議員回り 13:30~16:45 関係省庁要望
場 所	衆参国会議員会館、関係省庁
活動の相手方	国会議員石破茂、赤沢亮正、舞立昇治、藤井一博、青木一彦、出川桃子氏をはじめジオ議連に関係する議員本人及び秘書 関係省庁、内閣府環境庁、文部科学省、観光省の各省庁職員
活 動 の 目 的	「国会議員」及び「ジオパークによる地域活性化推進議員連盟」へ、ジオパーク活動の推進について説明をし、要望書を手交するため
活 動 の 内 容	9時半過ぎから鳥取島根両県選出衆参国会議員をはじめとして、ジオパークによる地域活性化推進議員連盟に参加している議員の事務所を回り、要望書を手交しジオパーク活動に対する更なる支援をお願いした。 加えて、関係省庁である内閣府、環境省、文部科学省、観光庁の担当職員に更なる支援をお願いした。 終了は午後4時過ぎにになった。
活動の結果等	「山陰海岸ジオパーク推進三府県議会議員の会」银杏会長含め鳥取県4議員と兵庫県3議員合わせて7県議に、随行職員2名、東京本部職員の協力を得て要望活動を行った。 各国会議員には分刻みのスケジュールで面談を行い各議員に理解をいただいた。 各省庁においてはジオパーク活動への取り組みの現状を説明し、意見交換を行った。
関連領収書番号	73, 74, 75, 76, 76-2, 77, 78, 79, 80, 81, 82

【様式】

活 動 報 告（県外・国外）

議員名： 広谷直樹

活 動 事 項	山陰近畿自動車道整備推進決起大会出席
活 動 年 月 日	令和 7 年 11 月 17 日(月) 移動日・宿泊 令和 7 年 11 月 18 日(火) 10:00～11:00
場 所	衆議院第一議員会館 大会議室
活動の相手方	山陰近畿自動車道整備推進協議会他
活 動 の 目 的	鳥取市と京都府宮津市を結ぶ 120 km の高規格道路の早期完成を目指し、鳥取県、兵庫県、京都府で構成された山陰近畿自動車道整備推進協議会と、国会議員をはじめ関係府県市町の行政・議員関係者が一堂に集まり整備促進を訴えるもの。
活 動 の 内 容	地元の整備推進団体の山陰近畿自動車道整備推進協議会、山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会、鳥取豊岡宮津自動車道整備推進協議会、但馬地域高規格道路推進協議会、丹後地域高規格道路推進協議会からの要望書の手交を行った。 また、それぞれの関係者から意見発表を行い、私も「山陰近畿自動車道整備推進三府県議会議員の会」の会長として意見発表を行った。。
活動の結果等	山陰近畿自動車道は、日本海沿岸の高規格道路のミッシングリンクを解消し日本海国土軸を形成する重要な道路である。しかし山陰近畿自動車道の全長 120 km の供用率は未だに 4 割程度である。 早期の全線開通に向けて、関係団体が連携を取り予算確保、早期事業化に取り組んでいかなければならない。
関連領収書番号	85, 86